

環境整備

浜の清掃に重機の整備を

海岸清掃に重機の購入ない



あさの しゅういち 議員
浅野 修一

問 県がやらないから3月までそのまま。そんな話は通用しないと思う。無責任すぎるのではないか。

答 松本町長

今の状況で放置するのは残念だが、撤去にはかなりの費用が要る。管理者である県にやっていたらかなければならないと思っている。

問 鞭海岸には、いまだに大量の流木やゴミが山積みのままであり残念だ。早期対応に、浜の清掃に重機の整備できないか。

答 今西海洋森林課長

入野海岸、浮鞭海岸は、海岸施設の管理者が県であるため、町としては海岸清掃作業に重機の購入は考えていない。

現状、県は維持管理予算不足のため、予算確保後、今年度内に流木等の撤去を完了することのこと。

問 浜の清掃に参加の町職員もボランティアか。

答 藤本教育次長

年2回の清掃について、担当課は清掃道具の準備、ゴミ処理、現地での安全確保など責任を伴う業務があり、4月の清掃では教育委員会生涯学習係の職員、10月の清掃では海洋森林課の職員は勤務と位置付けている。そのほかの役場職員は、すべてボランティアとして参加をしている。

施設整備

黒潮一番館改修の計画は

現段階で具体的計画はない

問 黒潮一番館の将来を見据えた施設改修の計画はあるか。

答 今西海洋森林課長

現段階で、具体的な計画はない。

施設は建築後、およそ19年が経過し、経年による備品の破損や外壁塗装の剥がれなど一定の老朽化も見られるが、常に施設点検を忘れず、利用者の立場に立った設備の導入や、不具合の点検、また、清掃全般についても、指定管理者の努力により健全に保たれている。

高規格道路延伸に伴う観光入り込み客の増加や物流時間の短縮、工場、店舗の誘致、道の駅「なぶら土佐佐賀」への新たな人流など、佐賀地区における将来を見据え、如



流木が打ち上げられた鞭海岸
(令和4年12月23日)



19年余り経過した黒潮一番館
(令和4年12月23日撮影)

答 門田産業推進室長

高規格道路の延伸に伴い、人の動きが変化する。高規格道路に沿う形の上川ロインターチェンジ周辺において、新たな道の駅の整備を行う計画があり、今後、解消すべき課題、また将来にわたり必要とされる予算の検討について、協議を進めていきたい。

問 高規格道路の開通を踏まえた上で、大方地区への施設整備の必要性を強く感じている。町の考え、また、計画はどうか。